

目黒会 北海道支部 令和3年度 支部総会

日時： 令和3年9月25日（土） 16時より

会場： ZOOM 利用によるリモート開催

参加者： 梅澤英行 (S47B)、加賀谷隆 (H2F)、水谷祐輔 (H11M)、浜中直人 (S62C)、
酒井裕司 (S49P)、吉井 透 (S54I)、麻田直人 (S47JR)、山本隆也 (S34JT)
藤川朋大 (H22J)、関哲人 (H12IS)、本庄 良哉 (S57R) 順不同

来賓： 電気気通信大学 田野俊一 学長、目黒会 大家万明 会長

他支部会員： 今井高介 (長野支部長、理事)、竹田智彦 (首都圏総支部長、理事)
傘義冬 (前国内支部委員長)、藤田幸也 (九州支部長)、小島宣治 (関西総支部)
屋敷誠二 (中国地方支部長)、麻生佳哉 (九州支部) 順不同

総会議事：

令和2年度 北海道支部活動報告、支部収支報告

令和3年度 活動予定 (これまでの活動報告)、予算案報告

いずれも拍手にて承認

支部役員改選

北海道支部役員改選の年。改選にあたり支部長より現役員に継続を打診したところ梅澤さんより今回で役員を辞したい旨の申し出がありました。北海道支部創設の発起人であり、その後長く役員を担っていただいていたが、「世代交代も必要」とのご意志もあり今回にて勇退いただくことになりました。

後任を役員にて協議したところ、複数の役員より藤川さんを推す声があがりました。理由としては、①就職で北海道へ戻ってこられた際、「積極的に目黒会活動にかかわりを持ちたい」との表明があった。②その後の支部活動に積極的に参加いただいている。したがって今後の活躍に期待できるとのこと。

ご本人に役員就任を打診したところ快諾いただけましたので、藤川さんを新たな役員として推挙するとともに、他の現役員の留任を提案。参加者の拍手により承認されました。

来賓挨拶・講演：

田野俊一 電気通信大学学長

○最近の電通大の自慢

・電通大卒業であることに誇りを持ってもらい、大学とのつながりを大切におもってもらえるようにしたい。学生や教職員に「電通大が良い大学であること」を伝えたい。

「地味な大学でいいや」から脱却したい。

・リクルート「大学の約束 2019」での高評価 (全国の大学での評価)

・地元にもPR 京王線調布駅「副駅名標」を掲出

・調布市のワクチン大規模接種会場として体育館を提供

・コミュニケーションマークをマイナーチェンジ

TOKYOの文字をはずし、UECを前面に押し出して世界へPR

○UECビジョン ~beyond2020~ を策定

・美麗秀句からの脱却、より具体的なビジョンを提示

電通大自身も共創進化スマート大学へ

○産学連携アンバサダー

・目黒会会員の皆さんにアンバサダーとして登録していただき、産学連携の橋渡しをしていただきたい

大家万明 目黒会会長

『可能性は無限大』 大学と同窓会の新しい連携
双方向の協力とシナジー創造

○大学支援

- ・ブランディング活動連携強化
- ・現役学生への支援強化

○会員親交・親睦

- ・同窓生の活動の活性化 オンラインの活用
- ・同窓会のメリットのPR
- ・情報提供の強化

オンラインコンテンツの充実、メールアドレス登録の推進（50%超をめざす）

○社会貢献（一例）

スマートテクノロジーフォーラム 2021 の主催

<https://megurokai.jp/home2/category/stf/>

懇親会

17時25分より ZOOM 懇親会を開始。

北海道支部会員の自己紹介から進めつつも、様々な話題に脱線しながら話題は尽きず、お開きまで4時間余に及び、盛会となりました。

中でも、大企業志向が強いといわれる電通大生にも起業など攻めの姿勢を持ってもらうためにOBの成功談講演会を開催すべきという声には賛同の声があふれました。

懇親会中のスクリーンショット

